



3月11日の東北地方太平洋沖地震による液状化被害（袖ヶ浦6丁目）

ならしの市議会

発行 習志野市議会 平成23年(2011)5月1日 第150号
編集 議会報編集委員会 電話 047(453)9232 FAX 047(453)7767
習志野市鷺沼1丁目1番1号 http://www.city.narashino.chiba.jp/shigikai/

震災復旧のための 補正予算可決

平成23年第1回定例会は、2月18日から3月18日まで29日間の会期で行われました。今議会では市長提出の議案17件が審議され、すべての議案が可決されました。また、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による被害の復旧に要する経費について補正予算が追加提出され、全員賛成で可決されました。なお、請願・陳情については25件が、常任委員会及び議員提出の発議案については7件がそれぞれ審議されました。

可決された主な議案概要

議案第1号 平成23年度 習志野市一般会計予算

内容 本案は、歳入歳出予算の総額を対前年度比8.2%増の53億2千万円とするものです。そのほか継続費、債務負担行為、地方債についての予算計上です。

重点施策の概要(抜粋)

- ◆子育てが安心してできるまち、子育て支援施策の更なる充実
- ◆(仮称)杉の子こども園の建設及び(仮称)袖ヶ浦こども園の設計
- ◆若松保育所、袖ヶ浦第二保育所における私立化への取り組み
- ◆子ども手当の支給
- ◆その他、特別な支援を要する児童や保護者への対応として、臨床心理士を雇用し、専門的なサポートや相談などに取り組みます。
- ◆市民が、健康で生きがいを持って、安心して暮らせるまちづくりの推進
- ◆子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌予防ワクチンの接種を実施
- ◆妊婦一般健康診査における検査項目の追加
- ◆この他、障害者基本計画・障害福祉計画や高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に取り組みます。
- ◆時代のニーズに適切に対応した施設環境の整備
- ◆新総合福祉ゾーンにおける複合施設整備に対する助成
- ◆津田沼小学校の建替えや各小学校における大規模改修工事の継続
- ◆第一中学校のグラウンド用地の取得
- ◆市営住宅の大規模改修工事の継続
- ◆屋敷公民館、藤崎青年館の耐震改修工事の実施
- ◆実分遺所の実施設設計
- ◆弓道場の整備
- ◆この他、習志野郵便局旧局舎跡地に医療法人社団により建設される施設の内、公共施設に関わるスペースの整備を行い、指定管理者による運営に取り組めます。
- ◆活力あるまちづくりの推進
- ◆JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業の推進
- ◆ハミングロードや市内各都市計画道路の整備推進などに取り組みます。
- ◆この他、姉妹都市提携25周年にあたり、タスカ

ルーサ市への訪問団の派遣を予定することにも、緊急地域経済対策事業や緊急雇用創出事業など、地域経済の活性化にも取り組みます。

問 市民税の滞納状況について当局は今後もこういった傾向が続くと考えているのか、それとも改善すると考えているのか。答 今後ともこういった傾向は続くのではないかと考えます。

議案第14号 習志野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
内容 改正の1点目は、管理職手当の削減を1年間延長するものです。改正の2点目は、義務教育等教員特別手当の上限額を引き下げるものです。改正の3点目は、職員の給与を支給する際の控除に係る規定を整備するものです。

問 管理職手当はどのくらいの額が削減されたのか。答 平成8年度から21年度までの決算で65億9千655万円を削減しました。

議案第15号 習志野市墓地的の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
内容 本案は、墓地又は納骨堂の経営許可基準等を見直すと共に、事前協議を義務付けることにより、墓地等の経営等の許可事務の適正化を行うため、条例の一部を改正するものです。

問 近隣市と比較してどのような規制となるのか。答 近隣市とはほぼ同様の形

となるような条例の改正案を提出しています。

議案第18号 平成22年度 習志野市一般会計補正予算(第5号)
内容 本案は3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震により、ライフレインや道路、各公共施設等に多大な被害が発生したことから、これらの復旧に要する経費について、迅速かつ柔軟な対応を図れるよう財政調整基金から3億円を予備費に繰入れようとすることを決めます。

ることを求めるものであり、発議案第6号 若者の雇用対策のさらなる充実を求める意見書について
内容 本案は、雇用ミスマッチの解消を初めとする若者の雇用対策を充実させるよう強く求めるものである。

発議案第7号 公共交通機関のバリアフリー化のさらなる推進を求める意見書について
内容 本案は、新たな政府目標を定め、地方公共団体、事業者との連携強化を図りながら、公共交通機関のバリアフリー化をさらに推進するよう強く求めるものである。

採択(送付)された陳情
受理番号第20号 TPP交渉参加反対に関する請願
受理番号第27号 「袖ヶ浦住宅管理組合」の高層マンションへの建てかえ計画及び住生活等基本条例制定に関する陳情
委員会の審査概要
3月7日、8日、17日に各常任委員会が、9日から14日に一般会計及び特別会計予算特別委員会が開催されました。付託された議案、請願・陳情の審査結果は次のとおりです。

総務常任委員会
付託された議案3件、陳情4件の審査を行い、議案第13号及び第17号【全員賛成、可決】議案第14号【賛成多数、可決】受理番号第263号、第269号、第273号及び第277号【可決】のとり決しました。

建設常任委員会
付託された議案1件並びに陳情6件の審査を行い、議案第16号【全員賛成、可決】受理番号第270号、第272号、第276号及び第279号【賛成少数、不採択】受理番号第271号【賛成なし、不採択】受理番号第275号【賛成多数、採択送付】のとり決しました。

環境経済常任委員会
付託された請願1件及び陳情1件の審査を行い、受理番号第261号【全員賛成、採択】受理番号第278号【可決】委員長裁決【不採択】のとり決しました。

文教福祉常任委員会
付託された議案1件、陳情13件の審査を行い、議案第15号【全員賛成、可決】受理番号第255号ないし第259号、第262号、第264号ないし第268号及び第274号【賛成少数、不採択】受理番号第260号【可決】受理番号第260号【可決】のとり決しました。

一般会計予算特別委員会
付託された議案2件について、議案第1号及び第8号【賛成多数、可決】のとり決しました。

新社会党

労災事故防止徹底を！
強化磁器器器導入へ前進

Q 1月清掃工場で起きた事故はいかなるものか
A 工場の運転業務委託先の社員がベルトコンベヤーに巻き込まれ、右腕を切断した。
Q 原因は何か
A 電源を止める作業や複数で点検すべき所を一人で作業を行ったなど、ルールが無視されたことだ。
Q 衝撃的な事故だ。現場は2階なのに停止させるスイッチは4階に有り、問題がある。市長は現場を見たのか
A 見ていない。
Q 市長は事故発生を何時に聞いたのか
A 発生直後だ。
Q 今日からすれば、すでに1カ月以上経っているのに市長が現場を見ていないのはお粗末きわまりないことであり、公表しなかつたことも問題だ
A 公表をするよう指示はしなかつた。
↓設備上問題がある事故だ。安全については、委託会社に任せきりにしてはいけない。改善を要望。
Q 新築の津田沼小への強化磁器器器導入は
A 津田沼小の給食室の設計において強化磁器器器導入を可能とする環境で整えているが、備品・消耗品については平成24年度の予算編成の際に市当局と協議していく。
Q 学童保育の現状と今後の方針について
A 平成22年度3月中旬

開設に向けて(仮)鷺沼第二児童会の準備が進んでいる。津田沼小は新校舎の一部を児童会専用施設にする。東習志野、屋敷藤崎児童会に冷房機器の増設を新年度予算で整備する。
↓指導員の給与面における待遇改善を要望。
Q 図書館民営化で職員がフーキングア化する恐れがある。市の考えは
A そういうことのないように仕様書に雇用条件を明示していく。
↓仕様書とおりに実行されるには限らない。また、大久保図書館に司書を増員すれば人件費の節減にはならない。必然性のない民営化に反対である。

強い習志野を創る会

震災のため、六中で行われた二中の入学式(4月7日)



習志野政心会

50年後の夢と輝きをもつて自己実現できる都市へ

Q 都市計画道路3・4・8号線(JR津田沼駅南口特定土地画整理区域内から谷津6丁目を横断し船取線に至る)の土地画整理竣工までの進め方について説明を求む
A 平成19年度谷津6丁目

事業認可、平成26年度事業着手していく。
Q 平成25年度事業認可では、平成26年度の土地画整理竣工に間に合わない。竣工と同時に都市計画道路の開通ではなかったのか?この道路の開通は、習志野の物販、流通、住宅などあらゆる産業の活性化に繋がる道路であり、税収にも大きく影響を及ぼすものである。何故、竣工と同時に開通させないのか?
A 実施中の他の都市計画道路が遅延しているためそれを早期に完成させることが必要である。
Q 習志野市のマスタープランや基本計画等で将来の都市像が描かれているが、取り組みが見えない
A 調整区域の展望については地権者の意向を集約して具現化を目指す。
Q 意見集約が先決と言いつつ、先決と進んでいないのはなぜか、その要因を特定して作業を組み立てて行かなければ、小規模開発や乱開発で調和の取れたまちづくりが夢と消えてしまうと思うが
A 危機感を持って取り組んで行く。
Q 農業振興の取り組みは
A 第1に、都市型農業の振興、第2に地産地消の推進、第3に遊休農地対策の三本柱で推進する。
Q 学校体育施設の使用について
A 従前どおり市民の方々の要望に対応して行く。
↓歴史的史料・文化財が多く残されているが、これからの心の時代に相応

しい形で展示がされたり、学ぶ機会が得られる様な状態を市民は望んでいる。
Q 習志野市基本構想後期第2次実施計画(平成13年度〜平成26年度の内、平成23年度〜平成26年度の実施計画)の計画概要と予算との関連について
A 14年間分の基本構想の最終段階。策定した10年前から世情が変化している点もあるが継続性・実効性ある計画。昨今の不景気と財政難から事業の選択と集中を勘案した。また、次期基本構想を作成し策定する時期でもある。実施計画では新規事業12、継続事業92、終了見通し事業9をはじめとする17事業を掲載。
Q 京成大久保駅西口踏切の交通安全対策について
A 踏切内とその両側の道路における歩道と車道を区別するペイントの実施の時期について
A 踏切内の施工であることから京成電鉄と協議し、去る2月18日に工事委託協定を締結し、3月18日までに工事が終了する。大久保駅周辺は未だ発展途上。橋上化を含め地元と協議しながら今後も進行。

未来の風

市民に役立つ市政に
向けて二層の改革を!

Q 地域主権改革の進展に伴い、行政執行機関として企画立案と事業実施部門の分離が必要である

が、いかがか?
A 両部門の分離が必要であり、将来ビジョンと戦略の立案ができる組織体制の構築を図る。
↓環境部や保健福祉部等、政策立案部門と実施部門が重要であるので強く要望。
Q 職員の能力向上のために、先進地視察や事例研修が必要であるが、いかがか?
A それぞれの所属が業務の必要性に応じて先進地の視察を行っているが、このことは重要なことであり、積極的な研修の仕組みを作っていく。
Q 地球温暖化防止対策への今後の取り組みは、いかがか?
A 本市にふさわしい「地球温暖化対策地域推進計画」にするために、平成24年度に見直しを見据え、来年度より取り組みをすすめていく。
↓推進計画の見直しと共に、地球温暖化防止条例の制定を要望。

公明党

公明党は責任ある対応で
市政を担っています!!

Q 保健福祉部の組織体制見直しについて。新年度、医療専門職の活用できる体制が確立できるのか
A 今回の見直しは高齢者福祉の充実を見据え、介護保険業務の一元化を図った。それにより、ヘルスステーションの専門職が現場業務に専念できる環境整備を一步進める事ができる。医療専門職のポテンシャルが十分發揮出来る組織体制の構築を今後も継続して検討していく。
Q 総合教育センターの見直しについて。「相談業務一元化」に係る進捗状況は
A 平成23年度から「相談業務一元化」を実施するが、各機関とのすみ分けや体制整備、資質向上の充実に努める。
Q (仮称)発達相談センターについて。配置する職種・人員等の進捗状況は
A 必要な専門職を16〜20名。更には専門職に求められるニーズも高く一人当たりの業務負担も大きい。そのため、市内全体の職員定数管理で調整をお願いする。なお、開設準備に専念できる体制を確保する。
Q 平成23年度重点政策予防接種事業について
A 子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌等ワクチン接種を公費助成で実施。
↓子宮頸がんワクチンの接種対象から外れる新高校生の2年・3年女子に公費助成を要望!
Q 新年度子ども手当の財源構成と地方負担について市長の見解を伺う
A 総事業費35億5,540万円、県負担3億4,772万4千円、市負担3億5,312万円。地方負担については、不公平感があつてはならないものと考え新年度予算に計上。
↓現金給付と現物給付のバランスをとり施設整備の充実を要望!児童手当法に戻った場合丁寧な窓口対応を要望!
Q 実花幼稚園閉園後の対応について

A 平成24年度から2年間限定で遠距離地域に通園バスを運行。10月までに具体的な運行形態を公表。
↓私立幼稚園就園奨励費の拡大を要望!
Q 高齢者・障害者等の移動手段で、介護保険対象外の方の車イス対応車両や福祉タクシー券の現況について
A 各タクシー会社が車イス対応の車両を保有し、社会福祉協議会が車イス対応車両の貸出しサービスを行っているほか、三つのNPO法人が有償福祉運送を実施している。また、所得制限を設けたが、福祉タクシー券の支給は継続して行っている。
Q オンデマンド・バス導入の課題について
A 埼玉県北本市では、委託等で年間二千万円程度かかっている。既存の交通システムを阻害しないという要件があり、それをクリアする必要がある。
Q 香澄交差点の秋津第一歩道橋のエレベーターの管理について
A 透明なガラスを使い、防犯カメラを三基設置し、周辺にも複数の照明を配置する。
Q (1)公会計制度導入により、新年度予算にどの様に反映されたのか伺う
(2)財政規律を保つ上で、留意した点を伺う
(3)行政・地域課題を後期第2次実施計画にどの様に関連づけたのか伺う
(4)森林公園の新年度の整備計画について
(5)公共施設の大陽光システム導入の取り組みについて
(6)公園の整備と管理について



- (7) 藤崎青年館の整備計画について
- (8) 郷土資料館や美術館の今後の方針について
- (9) 陸上競技場や武道館の今後の計画について
- (10) 京成大久保駅北口広場と駅舎の今後の取り組みについて
- (11) 開発公社の今後の方向について
- (12) 新庁舎建設の今後の方針について
- (13) 習志野の森の現状と今後の方針について
- (14) 菊田川水路敷きの整備について。鷺沼台4丁目の井戸跡地について

A 市長からは、提案項目について「検討したい」との答弁。

日本共産党

市民参加で福祉・防災のまちづくりを

Q 住宅リフォームに自治体が補助する助成制度は、千葉県いすみ市では今年度から実施。今年度は我孫子市でも実施の予定。県も調査費を予算化している。本市の方針は？

A 調査、研究したい。Q 地元事業者が公共施設の修繕を発注する緊急地域経済対策事業の今年度方針は？

A 市と企業局が6千万円の予算で実施する。Q 子ども学校徴収金は、年間で小学校8万4千円、中学校13万円。軽減できないのか？

A 学校ごとに決める。負担軽減のための就学援助は生活保護基準の1.3倍以下。船橋市は

15倍以下。習志野市も船橋市並みに払うべき。Q 特別支援教育の教員の24%（4人に1人）は非正規教員。通常学級は8%（12人に1人）であり、あまりにも違う。非正規教員は雇用期間が1年で不安定な身分である。改善すべきではないか？

A 県に改善を要請する。Q 習志野市は、市内の5図書館のうち、大久保図書館を除く、東習志野図書館、新習志野図書館、藤崎図書館、谷津図書館の4図書館を指定管理者制度導入により民間化しようとしているが、図書館運営にかかわる市民団体が反対している。1月には片山総務大臣が公共図書館とか学校図書館は指定管理者になじまないと思ふ」と述べている。それでも民間化するのか？

A 片山大臣発言はあくまで個人の発言。Q 千葉県の第3次男女共同参画基本計画で「男女平等」の文言が削除されるなど施策の後退が懸念されている。習志野市では、次期基本計画の策定で、どのように市民の声を反映させるのか？

A 市民との協働の視点により策定していきたい。現基本計画に掲げる「男女平等の意識づくり」などを踏まえ、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいきたい。

Q 昨年9月の台風による豪雨は、市内各所で浸水や道路冠水を生じさせ、多大な被害をもたらした。国道14号線と袖ヶ浦団地の津田沼6丁目地域も浸水、冠水被害が発生した。下水道改善など対策を求めたい。

A 道路側溝と下水道管を接続する雨水マスを増設。コンクリート蓋の一部グレーチングに交換し、排水しやすくする。Q 谷津3丁目の京葉道路南側の市道沿いも冠水した。従来から地盤高が低く、潮位上昇等の影響に加え、京葉道路の雨水流入もあつたが対策は？

A 京葉道路からの排水が合流する集水マスにおいて逆流防止弁などの設置が可能か、東日本高速道路株式会社と協議を重ね、検討を進めている。Q 蓋かけ歩道の改善は？

A 津田沼1丁目の船橋市境の市道の歩道改善は、電柱の移設を終え、今年度側溝蓋の改良と歩道着色を実施する予定。

Q 今後の政治姿勢について(1)今の心境はどうか？(2)ポータル・オープンまでの経緯について(3)着工前とオープン後の話(4)緊急通報装置の利用方法の拡大について

Q 子官頼がんと対策について(1)今までの数回の質問に対するその後の進捗状況について

Q 荒木市長のもとで、習志野の治安が悪化。相撲部屋から賭博恐喝事件発覚。親方のその後は？

Q 電話にて報告あり。Q JR津田沼駅南口開発は、荒木市長後援会に私物化されている。79歳の老婆と娘の住む家の玄関のドアを電動ノコギリで破壊し、強制執行をかけた。荒木市政末期症状。なぜ責めたのか？

Q 残念な結果だった。Q 5000万円の念書。覚せい剤常習の不動産ブローカーから26億円で買いとらされた土地。未解決。辞職を再三要求A...

Q 防犯対策についてA 防音壁で遮断されている国道37号線下り車線沿いの谷津干湯遊歩道の夜間の防犯対策について、車道に隣接した歩道の新設を行うなど、千葉国道事務所に要望する。Q その他、公園維持管理や放置自転車対策、スポーツ振興について質問した。

真政会

厳しい時代こそバランスを

Q 子ども手当については今年度限りの暫定措置であつた地方負担が新年度予算にも習志野市は導入することに当たり、市長は政府に対し、厳しい地方財政状況を十分に伝えて頂きたい

A これまで全国市長会、全国知事会等を含む地方6団体は、国に対し「子ども手当の地方負担に反対する緊急声明」等により、事務費を含め全額国庫負担とするよう求めてきた。

Q 実初の区画整理事業による、実初商店街の40坪空き地に300~400人が一同に集える施設建設を約8年前と4年前の市長選挙で、荒木市長は当選のあかつきには、必ず施設をつくりますと約束しながら今日を迎え、その責任はどのように考えているのか？

A 市の財政事情を考慮し民間事業者の資力やノウハウ等を導入し、プロポーザル方式による公募に向けて積極的に取り組んでいく。

Q 防犯対策についてA 円滑な避難所・避難場所の運営について、他市の避難所運営訓練等の視察研修を行い、それを基に地区対策本部職員への研修を行うしていく。

Q 交通安全対策についてA ①死角になる防音壁について、改善に向けて団地自治会や千葉国道事務所と早速協議する。

Q JR津田沼駅ベダストリアンデッキからバス停までの階段の照明設置について、手法を検討する。

Q 谷津3丁目の谷津遊園ハイソ周辺の時間帯一方通行規制道路への進入車両について、警察署に取り締まりを要望する。

Q 谷津3丁目旧国交省宿舎跡地北側の歩道整備は？

A 平成20年度末に財務省へ所管替え。道路・下水道用地の取得に向け協議中。平成23年度予算において用地買収費・道路改良工事費等を計上。

Q 高齢者支援のリバースモゲージ(長期生活支援融資)について

A 今後研究・検討していく。Q 大久保地区パートナーストップ事業の進捗状況は？

Q 予測し得なかった地下埋設物除去作業のため工期延長となり、平成24年4月に施設開設予定。市民課窓口サービス業務は指定管理者と協議する。

Q 谷津干湯についてA 本年2月に初めて環境省主催による谷津干湯保全事業に関する説明会開催。今後、干湯の保全に係る役割分担・経費負担について環境省と協議。

Q 介護保険料の引き下げと利用しやすい介護認定を

A 5億4千万円の介護保険料の基金は保険料引き下げや介護サービスに回せ

Q 改定時期の平成24年度から基金を利用したい。↓利用者が増え安心して受けられる認定基準が必要だ。

Q 財政難ならJR津田沼駅南口モリシア駐車場は業者が3千万円で貸さず、市が直営でやれば倍以上の収入が得られる。何故、再契約するのか？

A この土地は平成8年に開発すると決めている。容積率60%を最大限に生かした高度利用を検討中。↓15年以内に勝手に決めたことだ。貴重な土地である。売却には市民合意が必要だ。

Q 犯罪が頻発している。防犯カメラの設置を

A 千葉県はひたたくりワースト1になり、県は防犯強化のため補助金を出し、市は基盤整備を進める。

Q 不正開票事務の根絶を今後、疑惑があれば投票の再開示をすべきである

A これまで8項目に及ぶ改善をした。

↓大久保駅北側郵便ポストの移動と大久保4丁目にも設置を求めたい。

新政習志野

今後も続く正論！

Q 市長の政治姿勢について(1)今の心境はどうか？(2)ポータル・オープンまでの経緯について(3)着工前とオープン後の話(4)緊急通報装置の利用方法の拡大について

Q 子官頼がんと対策について(1)今までの数回の質問に対するその後の進捗状況について

Q 荒木市長のもとで、習志野の治安が悪化。相撲部屋から賭博恐喝事件発覚。親方のその後は？

Q 電話にて報告あり。Q JR津田沼駅南口開発は、荒木市長後援会に私物化されている。79歳の老婆と娘の住む家の玄関のドアを電動ノコギリで破壊し、強制執行をかけた。荒木市政末期症状。なぜ責めたのか？

Q 残念な結果だった。Q 5000万円の念書。覚せい剤常習の不動産ブローカーから26億円で買いとらされた土地。未解決。辞職を再三要求A...

Q 防犯対策についてA 防音壁で遮断されている国道37号線下り車線沿いの谷津干湯遊歩道の夜間の防犯対策について、車道に隣接した歩道の新設を行うなど、千葉国道事務所に要望する。Q その他、公園維持管理や放置自転車対策、スポーツ振興について質問した。



実初本郷公園の満開の桜 (4月10日)

ならしの志民の会

一人ひとりの命を大切に

Q 防災についてA 円滑な避難所・避難場所の運営について、他市の避難所運営訓練等の視察研修を行い、それを基に地区対策本部職員への研修を行うっていく。

Q 交通安全対策についてA ①死角になる防音壁について、改善に向けて団地自治会や千葉国道事務所と早速協議する。

Q JR津田沼駅ベダストリアンデッキからバス停までの階段の照明設置について、手法を検討する。

Q 谷津3丁目の谷津遊園ハイソ周辺の時間帯一方通行規制道路への進入車両について、警察署に取り締まりを要望する。

Q 谷津3丁目旧国交省宿舎跡地北側の歩道整備は？

A 平成20年度末に財務省へ所管替え。道路・下水道用地の取得に向け協議中。平成23年度予算において用地買収費・道路改良工事費等を計上。

Q 高齢者支援のリバースモゲージ(長期生活支援融資)について

A 今後研究・検討していく。Q 大久保地区パートナーストップ事業の進捗状況は？

Q 予測し得なかった地下埋設物除去作業のため工期延長となり、平成24年4月に施設開設予定。市民課窓口サービス業務は指定管理者と協議する。

Q 谷津干湯についてA 本年2月に初めて環境省主催による谷津干湯保全事業に関する説明会開催。今後、干湯の保全に係る役割分担・経費負担について環境省と協議。

Q 介護保険料の引き下げと利用しやすい介護認定を

A 5億4千万円の介護保険料の基金は保険料引き下げや介護サービスに回せ

Q 改定時期の平成24年度から基金を利用したい。↓利用者が増え安心して受けられる認定基準が必要だ。

Q 財政難ならJR津田沼駅南口モリシア駐車場は業者が3千万円で貸さず、市が直営でやれば倍以上の収入が得られる。何故、再契約するのか？

A この土地は平成8年に開発すると決めている。容積率60%を最大限に生かした高度利用を検討中。↓15年以内に勝手に決めたことだ。貴重な土地である。売却には市民合意が必要だ。

Q 犯罪が頻発している。防犯カメラの設置を

A 千葉県はひたたくりワースト1になり、県は防犯強化のため補助金を出し、市は基盤整備を進める。

Q 不正開票事務の根絶を今後、疑惑があれば投票の再開示をすべきである

